



学校通信



尼崎市立武庫東中学校

令和7年度 最終号

文責:校長 仁科 良久

さまざまの事おもひ出す桜かな

松尾芭蕉

校門の桜のつぼみが膨らみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。

先日は、第48回卒業証書授与式が行われ、3年生が晴れやかな表情と、爽やかな余韻を残して武庫東中学校を巣立っていきました。卒業生の明るい未来を願わずにはられません。

一方で、在校生は、本日、無事に修了式を執り行い、それぞれの学年の課程を修了しました。

この一年間、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただきました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

振り返れば、この一年も生徒たちは多くの壁にぶつかり、悩み、そしてそれを乗り越えてきました。学校での学習や行事、部活動での活躍や葛藤。その傍らには、常に家庭での温かな励ましと、学校の取り組みを信じて見守ってくださる保護者の皆様の姿がありました。

当然のことですが、教育は学校だけで完結するものではありません。家庭と学校が「子どもたちの健やかな成長」という同じゴールを見据え、手を取り合ってきたからこそ、今日という日を笑顔で迎えることができたのだと確信しております。

思春期という多感な時期にある生徒たちは、時に目標を見失ったり、人知れず迷い、悩んだりすることがあります。そんな時こそ、私たち大人が「足並みを揃える」ことが、子どもたちにとっての、何よりの支援となります。

学校と家庭が相対したり、異なる方向を向いたりするのではなく、同じ目線に立つ。協力して子どもたちの変化を敏感に感じ取り、ある時は厳しく、ある時は優しく寄り添う。その一貫した姿勢が、子どもたちに「守られている」という安心感を与え、自立への一歩を後押しします。

来年度は、令和9年度末に迫った学校部活動の地域展開に向けて、準備と移行がスタートする等の様々な教育課題への取り組みが急務となります。新しい中学校教育の価値づくりについて、保護者の皆さまにもご意見や、ご協力いただきながら、進めてまいりたいと考えております。

今後も、家庭と学校が良きパートナーとして対話を重ね、同じ歩幅で子どもたちの未来を創っていけるよう、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。充実した春休みを過ごし、新学期に逞しく成長した生徒たちに会えることを楽しみにしております。



校長 仁科 良久